

農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。ママシと放送局

と油売りが今日も来ている。この三人とも自分の家ではハジガレ者であるから此処へ来ているのだ。

放送局「オメエ達、一戸兵衛という人を知っているか」

油売り「何処のフトだ…」

ママシ「知らねえのか。オメエ、青森県人か」

放送局「弘前出身の陸軍大將だよ。

日露戦争（明治37・38年）の旅順攻囲戦のとき（満州南端の遼東半

島）乃木大將の第三軍内の第四旅団長として活躍した人だよ。退役

後、明治神宮の初代宮司になった人だ」

ママシ「二〇三高地は二〇三メートルの岩山で木が一本も無い所だ

とか」

油売り「当時、日本には機関銃が

なく、ロシアにはそれが有って、敵は上の方から楽しみながら撃つてよこしたとか。日本軍の戦死者

が何万人も出て、乃木大將の長男も次男も戦死している。

一戸が時々、岩陰に坐^{すわ}って腹を押さえているので林副官が「閣下、

又、腹痛でありますか、軍医^{ぐんい}を呼びます」と言つと、津軽弁で「ナ

ンモヤ、イダグネエジャ、エラネジャ」と答えたとのこと。津軽の

ジョッパリか。（林副官は、のちに首相になった人）」

放送局「なお、弘前から大物外交官が二人出ている。珍^{ちんだすてみ}田捨^{すてみ}巳と佐

藤尚武（田中屋の出）。二人とも大使をつとめた人だ」

オッガネエとの
かみなり
雷^{かみなり}・台風^{たいふう}

カツチャ
ハリトーン
モニリヤ
カツチャとある

義信